

「平成26年度全国学力・学習状況調査」における 結果の分析と取り組みについて

「平成26年度全国学力・学習状況調査」は小学校6年生・中学校3年生の児童生徒を対象に国語、算数・数学の2教科の学力調査と質問紙による学習状況調査が行われました。

なお、学力調査は学力の一部を把握するものであり、この調査が学力のすべてを表すものではありません。また、学習状況調査は子どもたちの学校生活や家庭生活の様子を表すものであり、保護者・地域の皆様には家庭生活や生活習慣を見直す一助となればと考えます。教育委員会では、この調査結果をもとに木曾岬町の子どもたちの強み・弱みを捉え、学校と連携してさらなる取り組みをすすめてまいります。

1 学力調査の結果

A問題・・・主として「知識」に関する問題（身につけておくべき基礎的な知識や技術）

B問題・・・主として「活用」に関する問題（知識や技術を実生活の場に活用する能力）

【木曾岬町の子どもたちの強み・弱み】

		強み	弱み
小学校	国語	A問題	○漢字の読み書きができる。 ○新聞の投書を読み、表現の仕方を捉えることに課題がある。
		B問題	○目的に応じて、話し合いの観点を整理することができる。 ○二つの詩を比べて読み、自分の考えを書くことができる。 ○わかったことや疑問に思ったことを整理し、それらに関係付けながらまとめて書くことに課題がある。
	算数	A問題	○計算問題を正しく答えることができる。 ○二つの数量関係を□、△などの記号を用いて式で表すことができる。 ○割合に関する問題において式を理解することに課題がある。 ○平行四辺形の特徴を選ぶことに課題がある。
		B問題	○示された場面から基準量と比較量を捉え、倍を求めることができる。 ○示された条件を基に、4つの長方形を敷き詰めることの理解に課題がある。
中学校	国語	A問題	○目的に沿って話し合い、互いの発言を検討することができる。 ○質問することで、必要な情報を聞き出すことに課題がある。
		B問題	○資料から適切な情報を得て、伝えたい事実や事柄が明確に伝わるように書くことができる。 ○本や文章から、目的に応じて必要な情報を読み取ることに課題がある。
	数学	A問題	○照明を読み、根拠として用いられる三角形の合同条件を理解している。 ○確立の意味を理解している。 ○数量の大小関係を不等式に表すことができる。
		B問題	○与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる。 ○与えられた説明の筋道を読み取り、式を適切に変形することに課題がある。

2 学習状況調査の結果

学校生活や家庭生活の様子についての調査の結果を紹介します。74項目の中から三重県教育委員会の「みえの学力向上県民運動」の指標としてあげている項目のほか39項目をあげています。児童生徒の回答の中で「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」などの回答の全国平均の割合を数値で表し、全国と比較した木曾岬町の状況を下記のように表しています。

- ◎・・・全国（公立）と比較してかなり多いもの
- ・・・全国（公立）と比較してやや多いもの
- ▲・・・全国（公立）と比較してやや少ないもの
- ・・・全国（公立）と比較してかなり少ないもの

	項目	小学校		中学校		
		全国 (%)	木曾岬町	全国 (%)	木曾岬町	
1	基本的な生活習慣を身に付けた子どもたちの割合	朝食を毎日食べている子どもの割合	96	○やや高い	93.5	ほぼ同じ
		毎日、同じくらいの時刻に寝ている子どもの割合	79.2	○やや高い	74.1	◎かなり高い
		毎日、同じくらいの時刻に起きている子どもの割合	90.9	○やや高い	92.1	◎かなり高い
2	人の役に立つ人間になりたいと思う子どもの割合	84	◎かなり高い	94	●かなり低い	
3	自分には、よいところがあると思う子どもたちの割合	76.1	●かなり少ない	67.1	◎かなり多い	
4	将来の夢や目標を持ち、失敗をおそれず挑戦する子どもたちの割合	難しいことでも、失敗を恐れず挑戦している子どもの割合	75.1	▲やや低い	68	●かなり低い
		将来の夢や目標を持っている子どもの割合	86.7	○やや高い	71.4	同じ
5	物事を最後までやり遂げてうれしかった経験がある子どもの割合	94.4	◎かなり高い	94	○やや高い	
6	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う子どもの割合	96.4	◎かなり高い	93.4	●かなり低い	
7	学校に行くことが楽しい子どもの割合	86.6	●かなり低い	82.4	◎かなり高い	
8	学校の規則を守っている子どもの割合	90.5	◎かなり高い	93	▲やや低い	
9	本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っている子どもの割合	77.3	◎かなり高い	46.5	◎かなり高い	
10	話し合う活動をよく行っている子どもの割合	84.9	●かなり低い	75.3	◎かなり高い	

		全国	木曾岬町	全国	木曾岬町
11	友だちの前で自分の考えや意見を発表することが得意な子どもの割合	49.5	▲やや低い	48.6	◎かなり高い
12	友だちと話し合う時、友だちの話や意見を最後まで聞くことができる子どもの割合	91.7	◎かなり高い	92.2	同じ
13	生徒間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができる子どもの割合	65.9	●かなり低い	61.9	◎かなり高い
14	授業のはじめに、課題（めあて・ねらい）が示されていると思う子どもの割合	82.0	●かなり低い	71.5	●かなり低い
15	授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っている子どもの割合	71.9	●かなり低い	53.3	●かなり低い
16	国語の勉強が好きな子どもの割合	59.2	◎かなり高い	58.2	▲やや低い
17	国語の授業の内容がよくわかる子どもの割合	80.1	▲やや低い	72	●かなり低い
18	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり書いたりしている子どもの割合	61.4	●かなり低い	56.1	◎かなり高い
19	算数（数学）の勉強が好きな子どもの割合	66.1	○やや高い	56.6	●かなり低い
20	算数（数学）の授業の内容はよくわかると感じている子どもの割合	79.6	◎かなり高い	71.5	同じ
21	算数（数学）の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思う子どもの割合	89	◎かなり高い	71.4	◎かなり高い
22	数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単な方法を考える子どもの割合	79.4	▲やや低い	67.4	◎かなり高い
23	「総合的な学習の時間」の授業の学習は、普段の生活や社会に出たときに役立つと思う子どもの割合	85	●かなり低い	71.2	◎かなり高い
24	「総合的な学習の時間」に自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる	63.8	●かなり低い	54.8	●かなり低い
25	1日に全く読書をしていない子どもの割合	19.3	▲やや高い	34.3	◎かなり低い
26	読書は好きな子どもの割合	73.0	●かなり低い	69.4	○やや高い
27	本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・室や地域の図書館へ行く子どもの割合	42.9	●かなり低い	18.9	●かなり低い
28	家の人と学校での出来事について話をする子どもの割合	80.4	◎かなり高い	72.6	○やや高い
29	家で、自分で計画を立てて勉強している子どもの割合	61.0	●かなり低い	46.6	●かなり低い

		全国	木曾岬町	全国	木曾岬町
30	家で、学校の宿題をしている子どもの割合	96.5	◎かなり高い	88.2	▲やや低い
31	家で、学校の授業の予習をしている子どもの割合	43.2	●かなり低い	34.2	●かなり低い
32	家で、学校の授業の復習をしている子どもの割合	54.0	●かなり低い	50.4	●かなり低い
33	家の人（兄弟姉妹を除く）が、授業参観や運動会などの学校の行事に来る子どもの割合	96.5	◎かなり高い	83.1	●かなり低い
34	地域の行事に参加している子どもの割合	68	▲やや低い	43.5	◎かなり高い
35	月～金曜日、1日当たり3時間以上、テレビやDVDを見たり、聞いたりする子どもの割合	38.0	▲やや高い	31.5	○やや低い
36	月～金曜日、1日当たり3時間以上、ゲーム（携帯電話やスマホも含む）をする子どもの割合	17.0	◎かなり低い	20.3	◎かなり低い
37	月～金曜日、1日当たり3時間以上、携帯電話やスマホで通話やメール、ネットをする子どもの割合	5.0	ほぼ同じ	19.8	ほぼ同じ
38	月～金曜日、学校の授業時間以外に、1日当たり1時間以上、勉強する子どもたちの割合	62.0	●かなり低い	67.9	●かなり低い
39	土・日曜日など学校が休みの日に、1日当たり3時間以上、勉強する子どもの割合	11.5	●かなり低い	16.9	▲やや低い

3 今後の取り組みについて

上記の「学力・学習状況調査の結果」から学力向上のさらなる取り組み（授業改善、補充学習、家庭学習の充実、読書活動の充実等）が今後も必要であると考えます。今回の調査結果に係る取り組みの一部を紹介します。

	授業改善	補充学習	家庭学習の充実
教育委員会	○授業改善のための指導・支援 ○教職員研修の充実 ○少人数教育の推進	○非常勤講師の配置	○子育て8つの指針の啓発
小学校	○課題の提示と振り返り ○言語活動の充実 ○活用力に関する問題の取り組み	○20分休み、昼休みを活用した補充学習	○自主学习ノート（4年以上） ○家庭学習の手引き「きそまなぶ」の配布 ○木曾岬町ファミリー読書週間（ノーテレビ・ノーゲームデー）
中学校	○課題の提示と振り返り ○言語活動の充実 ○授業のユニットとルーティン ○活用力に関する問題の取り組み	○パワーアップ木曾岬タイム 個人学習→グループ学習→個別指導等 ○放課後…数英理科の復習 ○昼休み…質問タイム	○デイリーノート 国数英理社のうち毎日1教科ずつ ○木曾岬町ファミリー読書週間（ノーテレビ・ノーゲームデー）